

人文科学研究所研究叢書

6『二〇世紀後半のヨーロッパ文学』

1990年3月30日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格3,800円（税別）

ISBN 4-8057-5304-8

まえがき	
第一部 戦争が終わって —さまざまな出発	
《廃墟に佇んで》	
戦中・戦後のハインリヒ・ベル	船山 幸哉
パウル・ツェランにおける現実の探索	戸口日出夫
《変革への予感》	
戦争とイギリス小説 —ウォーを中心に	小野 素子
《変革の開始》	
「怒れる若者たち」 —キングズリー・エイミス, その他	深澤 俊
第二部 可能性を求めて	
《表現形式の実験》	
サルトルの小説『嘔吐』『自由への道』	古本 耕三
トム・ストッパード	竹中 昌宏
《伝統と言語》	
シェイマス・ヒーニーの方法	松村 賢一
第三部 変奏と転回	
《批判的継承》	
ジョン・ファウルズの虚構	深澤 俊
マーガレット・ドラブルの『滝』をめぐって	佐野 雅彦
歴史と歴史を超えるもの —八〇年代のベル, グラス, ヴォルフ	平山 令二
《内省の季節》	
ル・クレジオの〈沈黙〉と物語	杉村 裕史
N・ボルンあるいは「新主観派」の位置 —政治の季節から「内向の世代」へ	北 彰
《変革の諸相》	
自伝の試み —サルトルの場合	水野 明路
アウンシュビッツとシャルル・ボヴァリーの狭間に —ジャン・アメリーの軌跡	入野田 眞右
危機の弁証法 —ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガーの場合	石黒 英男
第四部 新たな視角	
《中心と周縁》	
アイリス・マードックの『言葉の子供』	中川 敏
ル・クレジオ	望月 芳郎
《もう一つの立場》	
口承文芸の現在から	飯豊 道男
甦るメルヒェン —ミヒャエル・エンデの試み	田中 裕
ヌーヴォー・ロマンからヌーヴォー・シネマへ	鈴木 重生
《表現形式への問い》	
フォルムの批評と詩学	平岡 敦
あとがき	
略年表	
索引	